



## 編集後記

持ち直したのが要因。生鮮野菜の売れ方がグンと伸びたらしく、衣服やスマホなどなどの販売も好調。私達消費者がよく働き、よく食べて、経済の伸び率が拡大するってことですか。

■……我が国の政治は、衆参両院の議論の様子をテレビ中継で見ている限り、多くは「噴飯もの」シリーズばかり。特に与党若手議員達の程度の低さには呆れてしまいます。野党の国対委員長が見て「法相が閣僚の任にあらざ」ということは、圧倒的多数の国民も同じ思いを持っている」とホザク辺り。あなた自身はいかがなものか、と聞いてみたくなります。

■……「森友」とか「加計」の問題。大の政治家が国会の場でテーマにする事柄ですかね。優秀なベテラン議員達は、もう頭から無視しかかる政策なしの話題なんでしょうね。各党派若手議員達の再教育を一から考え直すべきで、議会制民主主義のあり方を勉強し直してほしいものです。■……若者の間で読書熱が高まっています。一時期、電車の中の若者達が熱中しているのは、紙の書物ではなく、小型の器械・スマホのたぐい

■……平和・安全のシンボリック存在の、大英帝国のマンチェスター市内で、去る5月22日夜、コンサート会場で爆発が起こり、多数の死傷者を出しました。メイ英首相は「何とも腹立たしいテロ攻撃。決して自称イスラム国過激分子を許すわけにはいかない」と怒り心頭。前日、そして29日にも、北朝鮮が日本海に向けて弾道ミサイルを発射、マンチェスター市民同様、富山や新潟の人達も安心した日々を送るわけにはいきません。国連安保理はテロ対策に無策？と思いたくもなりません。

■……内閣府発表の国内総生産速報は、実質で0・5%増、年率で2・2%増。何とかこちらはひとまず安心。プラス成長は5四半期連続で、伸び率は前期（年率1・4%）から拡大したそうです。これも輸出が引き続き堅調だったのと、個人消費が

ばかり。大学の近所の本屋がバタバタと倒れ、喫茶店も潰れて学生達の集う場所が姿を消して行きました。それがこのところの様子を変えて、読書傾向がポツポツながら高まりつつあります。知性の向上は望ましい限り、会話の中身も優れた内容に。これは本当によい兆候ですね。

■……沖縄の米軍基地から近く4000人の兵士達がグアムに移るそうです。日本人もグアムやハワイに多勢訪れ、海岸やホテルのプールで泳いだり、読書をしたり。観光地としてはベストの島と言えるでしょう。

■……イタリア・シチリア島で開かれたG7（先進7カ国首脳会議）総会で、安倍首相が全世界的なテロ対策強化を唱えていました。つい最近インドネシア・ジャカルタで自爆テロが発生、警官を含む十数人が死傷しています。そのちよつと前にフランスのニースで、そして今回の英国・マンチェスターでも自爆テロが。これからは海外旅行の目的地を選ぶのに苦労させられます。日本に海外からの旅行者が激増しているのも、我が国が自爆テロと無縁の「聖地」であの平和な「島国」グアムと肩を並べられるからでしょうね。

月刊公論 MONTHLY  
**KORON**

7月号 第50巻 7号

平成29年7月1日発行 毎月20日発売  
本体価格848円(税別) 送料86円

発行人 大 中 吉 一 編集人 田崎義信 和泉貴志  
発行所 株式会社社界通信社  
〒160-0008東京都新宿区三栄町25ボナフラワービル  
TEL.03-5379-5611代、FAX.03-5379-5616  
印刷所 株式会社廣済堂  
取次店 日本出版販売/大阪屋栗田

●直接ご購入をご希望の方は、本社までお問い合わせ下さい。  
●万一、乱丁、落丁などの不良品がございましたら、お取り替えいたします。